

# 古代越前・若狭における挽物容器の集成

松本 泰典（福井県教育庁埋蔵文化財調査センター）

## 1 はじめに

1996年の埋蔵文化財研究集会では、古代の木製食器と題して、北陸地方や福井県も含む全国的な集成と研究発表が行われた（本多 1996・川端 1996 ほか）。この集成から四半世紀経過したが、福井県内では大幅な資料増加もなく、他県と比べれば当該期の資料が不足していることは否めない。今回は上記で集成された資料に新出資料を加えることによって、現在の資料の様相を少しでも概観したい。

## 2 遺跡の性格と資料の概要

あわら市細呂木阪東山遺跡では、2014年に福井県教育庁埋蔵文化財調査センター（以下、県埋文）で発掘調査を行い、「津家」と墨書された須恵器などにより、付近に公的施設や港湾施設があると推定されている。2区からは、無高台の小形品（7）や中形品（8,10,13）があり、有高台の小形品（14・15）もある。無台盤の多くは、口縁部が底部から斜方にそのまま立ち上がるが、13は底部側縁に括れを持つ。これらは8・9世紀代のものである。1区の漆器碗は、内面赤色漆である2以外は総黒色漆である。胴部は丸みを帯びており高台が低いものが多い（2～5）。これらの多くが横木取りである。

福井市市岩畑遺跡では、1993年に県埋文で発掘調査を行い、多数の掘立柱建物や手工業生産に関わる遺物を確認している。地域の有力者が農業生産をはじめとする多角的経営を行うための拠点と考えられている。出土した盤は、共伴する須恵器から8世紀代と考えている（19）。

鯖江市光源寺遺跡は、越前国府推定地である旧武生市街地付近に立地する。1993年に県埋文で発掘調査を行い、寺院を示す墨書土器が出土している。出土した盤は9・10世紀代のものである（20）。

越前市安丸官人遺跡では、2008・09年に県埋文で発掘調査を行い、風寺硯などの遺物により古代国府に関連する遺跡と推定されている。21・22は外底面を除いた総黒色の碗で22は総高台である。

大野市太田・小矢戸遺跡では、2007～10年に県埋文で発掘調査を行い、掘立柱建物や緑釉陶器などにより、大野郡資母郷における公的施設を有する拠点の集落と考えられている。24・25は外底面を除いた総黒色漆で、塗膜断面観察で炭粉渋下地を検出している。24は総高台で口縁部は外反気味である。

若狭町田名遺跡と角谷遺跡では、奈良・平安時代の掘立柱建物や畦畔遺構、矢板配列遺構を検出している（三方町教委の発掘調査）。8・9世紀の遺物包含層から無高台の盤が出土する（26～28）。

## 3 まとめ

遺跡の性格と挽物との関係をもてみると、公的施設をもつ遺跡や有力者の生産・物流拠点における検出例が多い。居住用建物のみを持つような一般的な集落では、挽物をほとんど確認できなかった。

資料全体でみると、8・9世紀代の資料、特に盤が多いことが分かった。その中でも細呂木阪東山2区では、小形品や中形品、無高台や有高台といった複数種の挽物が認められる（ただし、16は刳物、17は中世末から近世、18は盤・皿の可能性）。これらは福井県内でも数少ない8・9世紀代のまとまった資料として注目している。そのほかに、安丸官人や太田・小矢戸の21・22、24・25は、口縁部を外反気味に、底部を総高台に成形し、外底面を除いた内外面に黒色漆で仕上げている。これらの碗については、その特徴から10・11世紀に位置づけられる（環日本海交流史調査研究集会の当日討論で

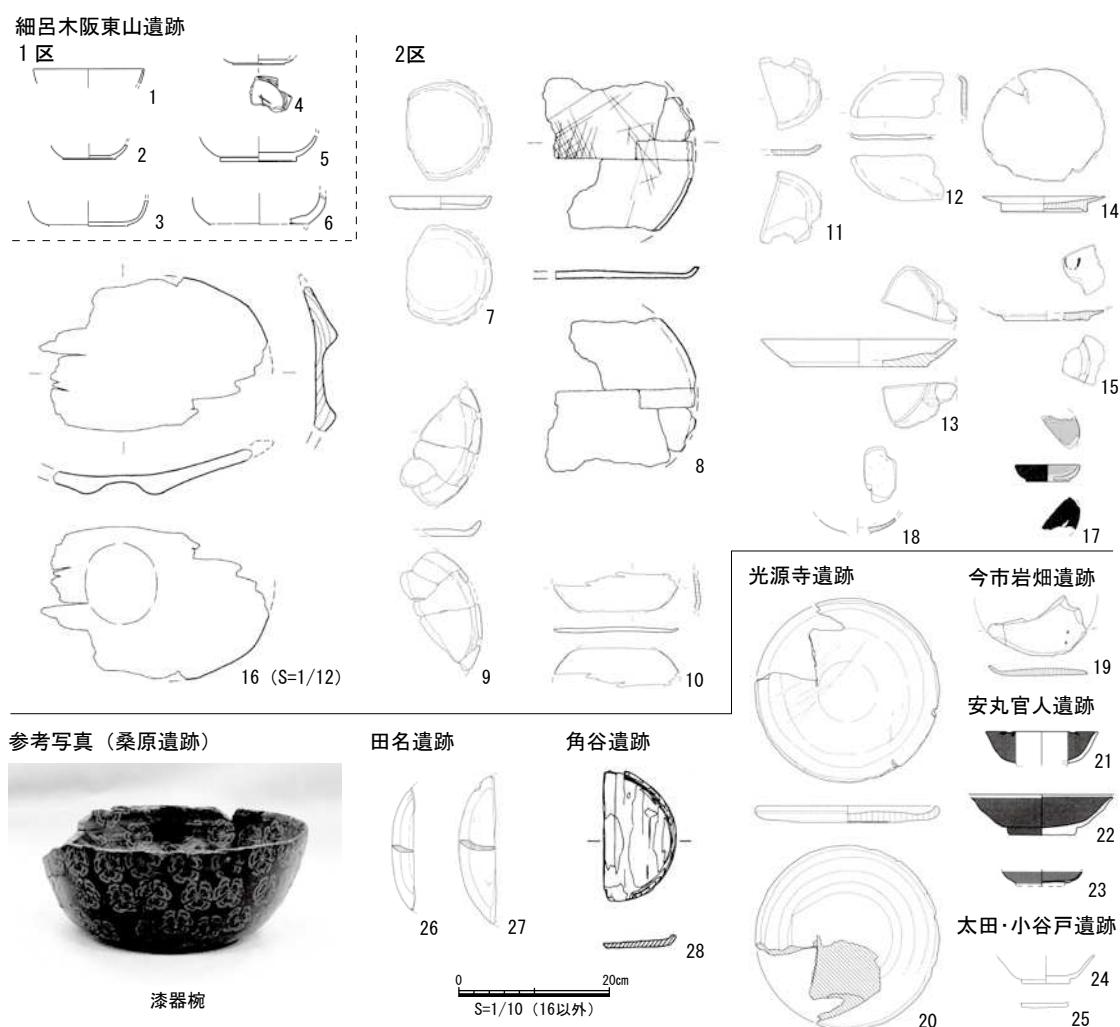
ご教示)。また、24 からは普及漆器の指標である炭粉渋下地を検出しており、これらの 10・11 世紀代の漆器は、中世漆器の初まりを考える上でも重要な資料といえる。また、細呂木阪東山 1 区の事例の低い高台は内面を抉り出すようにして作出される。前出の安丸官人や太田・小矢戸の高台形状とは明らかに異なるため、10・11 世紀代よりも後出する時期のものとする。以上の挽物の樹種については、報告書の樹種分析や肉眼観察により、その多くがケヤキと考えている。あわら市桑原遺跡（1977 年に金津町教委が発掘調査）では、共伴土器のあり方から 8 世紀後半と報告された漆器碗が井戸から出土している（参考写真）。一方で、本資料はスタンプ紋様や細呂木阪東山 1 区に類似する高台形状を持ち、小松市佐々木アサバタケ遺跡の中世前期の井戸から出土した漆器碗に類似している。このため、本資料の時期は古代というよりも中・近世、または中世前期（13 世紀代）を想定しておきたい。

## 引用・参考文献

川畑 誠 1996「北陸地方の木製食器の概要」『第 39 回埋蔵文化財研究集会 古代の木製食器－弥生期から平安期にかけての木製食器－』（第 I 分冊 発表要旨）

本多達哉 1996「福井県」『同上』（第 II 分冊 北海道・東北・関東・中部）

※掲載遺跡の引用文献については頁数の関係上割愛した。また、桑原遺跡の資料実見および写真掲載には、あわら市郷土歴史資料館からご協力・ご提供をいただいた。



福井県内から出土した挽物関係遺物の集成図